

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

コミュニティ スクール

NO.22

C S 通信

2024年5月31日
発行：布水中学校運営協議会
布水中学校校長 若狭朋幸
地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹



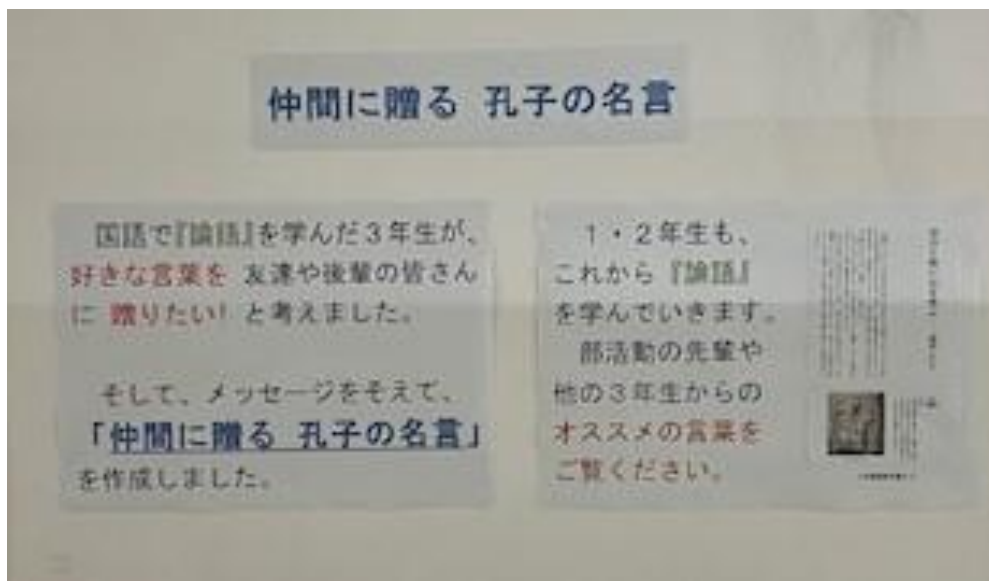
5月16日

図書室の前を通ると、ちょっと気になる掲示がありました。単に本をたくさん読むきっかけづくりとして「おしゃれなしおり」を渡すのだと思っていました。

もちろんそれもあるのですが、司書の先生に、「図書委員会の人は、楽しい

企画考えるね。」と話しかけると、「図書分類を知っていると調べ学習の時、欲しい資料を探すときにとても役立つし、効率が良くなるので知ってほしいの」という返事。なるほど、いつも読まない本を、図書分類を知るために読んでいくと、違った世界を感じることもできるし、調べ学習を効率よく行うこともできる。また、今までと違ったことに興味を抱き、将来を変えるきっかけと成るかも知れない……。

学校って、どこでも学びの場があるのだな。



5月31日

図書室前の壁には、新たな掲示。論語を学んだ3年生が選んだ名言。

筆文字で丁寧に描いた横には、言葉の意味やメッセージが書き込んであり、思わず立ち止まり読み入ってしまいました。多くありますが3つ紹介します。

- ・ ^{いち}一を似て^{もってこれ}之を貫く^{つらぬく}

(一度決めたことはどんなことがあってもやり遂げる。)

- ・ ^{くんし}君子は諸を己に求め、^{これ}小人は諸を人^{おのれ}に求む^{もとめ}

(君子は自分の身に起きた全ての出来事に対して謙虚に受け止め自分自身に責任を求め反省をする。しかし、小人は他人の命によって行動し、失敗すれば他人のせいにして反省をしない。)

- ・ ^{まなび}学びて思わざれば則ち罔し、^{おも}思いて学ばざれば則ち殆し。^{すなわちあや}

(たくさん読書をしたり、人から教えを受けても、自分自身で深く考えなければ、正しく理解したことにはならない。また、自分で考えてばかりいて、広く学ぼうとしなければ、独断に陥って危険である。)

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塚本 茂樹です。

この「CS通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していきたい事、学校の取り組みや校内の様子を保護者や地域の皆様へ発信していきます。発行する情報については、学校長の許可を得て発信しています。

ご意見・お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

E-Mail :

fusuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp

まで、メールでお願いします。